

# I 情報化の基本方針・平成26～29年度行動計画最終振り返り

## 1 情報化の基本方針とは

「情報化の基本方針」（以下、「基本方針」という）とは、2025年頃を展望した「横浜市基本構想（長期ビジョン）」が掲げる目指すべき都市像の実現を情報化の側面から支援する計画として、平成23年2月に策定したものです。

基本方針は、2025年頃を見据えた情報化の方針を表す「情報化ビジョン」と、ビジョンを実現するための具体的な「行動計画」の2部で構成されています。

「情報化ビジョン」では、情報化により目指す将来像として「地球や人にやさしくアイデアあふれる情報社会」を掲げ、そのために重要となる4分野を「4つの柱」として設定しています。「行動計画」では、情報化ビジョンを実現するための具体的な施策（計画期間：平成26～29年度）について記載しています。



## 2 最終振り返りの進め方

平成 26～29 年度を計画期間とした「行動計画」は、「実行施策」（※1）と「必要施策」（※2）の 2 種類の施策に分類されます。このうち「実行施策」について次の評価を行いました。

### ① 29 年度目標の達成率評価

29 年度始めに設定した、29 年度目標の達成率を評価しました。

### ② 4 か年の最終評価

26 年度の計画策定時に設定した、計画最終年度（29 年度）における施策の「事業の状態」等の進捗を評価しました。

### ※1 実行施策

計画策定時から 4 年間で実際に取り組む施策

システムについては、計画期間中の新規開発や再構築などの大きな改修が 26 年度の計画策定時点で予定されていた施策のみを対象として掲載しています。

### ※2 必要施策

計画策定時に具体化されていないが今後取組が必要と考えられる施策

### ① 29年度目標の達成率評価

29年度の単年度目標に対する実績について、次の基準に従って施策の所管課が自己評価しました。

#### ・数値目標を立てている場合

達成率＝実績÷目標値×100（％）

例) 情報セキュリティ研修の実施について次のような目標を立てた場合

指標	目標値	実績
研修受講者数	3,000人	3,884人

達成率 =  $3,884 \div 3,000 \times 100 = 129\%$

#### ・数値以外の目標を立てている場合

達成率＝達成できた指標の数÷全ての指標の数

例) システム開発で次のような目標を立てた場合

指標	目標値	実績
①基本設計 ②詳細設計 ③データ移行	①完了 ②完了 ③完了	①完了 ②完了 ③未実施

達成率 =  $2 \text{ (達成できた指標数)} \div 3 \text{ (全指標数)} = 67\%$

### ② 4か年の最終評価

26年度の計画策定時に設定した「事業の状態」に対して、計画最終年度末時点での進捗状況を、次の基準に従って施策の所管課が自己評価しました。

#### ・システムの開発を主体とした取組の場合

施策の進捗状況	進捗評価（※）	
当初の開発スケジュール（事業の状態）に対して進んでいる	計画以上に進んでいる	A
当初の開発スケジュール（事業の状態）通りに進んでいる	計画どおり進んでいる	B
当初の開発スケジュール（事業の状態）に対して遅れている	計画どおり進んでいない	C

※開発が停止するなど今後のスケジュールに大きな影響を与える問題が発生した場合、進捗評価は無条件で「C」とします。

#### ・その他の取組の場合

施策の進捗状況	進捗評価	
計画期間中における各年度の達成率平均値(※)が120%以上	計画以上に進んでいる	A
計画期間中における各年度の達成率平均値(※)が90～120%未満	計画どおり進んでいる	B
計画期間中における各年度の達成率平均値(※)が90%未満	計画どおり進んでいない	C

※「①29年度目標の達成率評価」の基準で算出する、計画期間各年度の達成率平均値です。

## II 最終振り返り総括

### 1 「実行施策」の29年度目標の達成状況

29年度に立てた目標の達成率を施策ごとに算出したところ、40の施策が達成率90%を達成し、概ね目標を達成しています。

実行施策はそれぞれ「1 安全で安心できる豊かな市民生活」「2 コスト縮減と信頼され効率的な行政運営」「3 活力ある都市横浜」「4 地球にやさしい環境」といった取組分野である「情報化ビジョンを支える4つの柱」のいずれか、又は複数に分類されています。また、新市庁舎整備に関わる施策は「新市庁舎整備関連」として4つの柱とは別に集計しました。分野ごとの内訳は次の表のようになりました。

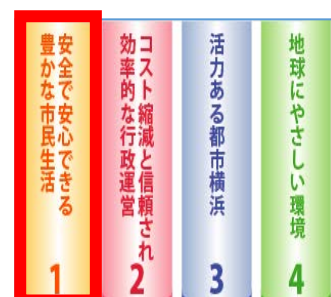
分野（4つの柱）	施策数	達成率90%以上の施策数
1 安全で安心できる豊かな市民生活	23	19(83%)
2 コスト縮減と信頼され効率的な行政運営	36	31(86%)
3 活力ある都市横浜	10	9(90%)
4 地球にやさしい環境	31	28(90%)
新市庁舎整備関連<再掲>	11	11(100%)
全施策	45	39(87%)

なお、28年度以前に計画が完了しているなどの理由で、29年度に取組のない施策は集計対象外としています。

### 2 4年間（26～29年度）の取組み状況総括

#### 柱1 市民生活分野 ～安全で安心できる豊かな市民生活～

新たな社会基盤としてマイナンバー制度が導入されたことに伴い、行政機関間の情報連携や、マイナポータルの利用など、マイナンバー制度の利活用に係る取組を進めました。



#### 柱2 行政運営分野 ～コスト縮減と信頼され効率的な行政運営～

情報化推進体制・統制を強化するため、IT部門と行革部門を再編し、しごと改革室の設置した他、システム調達に係る体制の整備、情報セキュリティ体制を整備しました。

インターネット分離やメール無害化などの情報システム強靱化を行ったほか、システム集約化を進めました。



### 柱3 地域・経済分野 ～活力ある都市横浜～

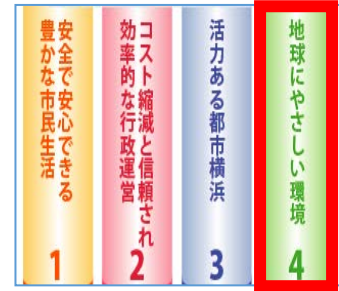
ICT 活用に係る協働の仕組みづくりが円滑に行われるよう、オープンデータカタログの整備を行いました。

I・TOP 横浜など、IoT 等を活用したビジネスの連携プラットフォームの整備を行いました。



### 柱4 環境分野 ～地球にやさしい環境～

ICT を活用することにより、ペーパーレス化を推進したほか、ICT 機器の省エネルギー化の取り組みを進めました。

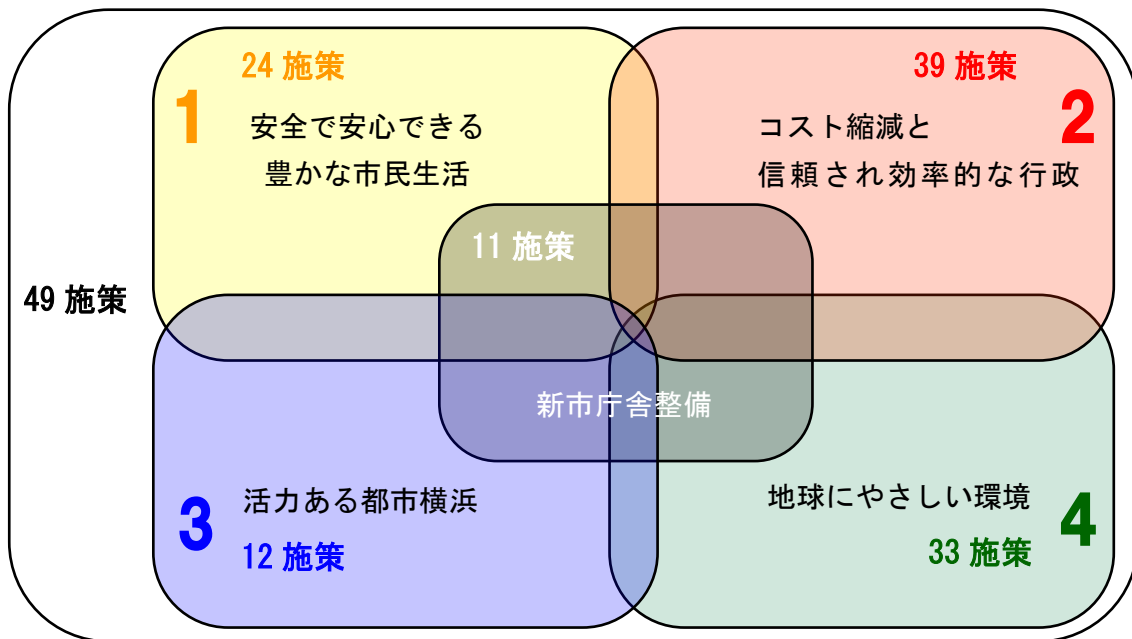


### 新市庁舎整備関係

新市庁舎移転を契機として、働き方改革への ICT 活用を進めました。新市庁舎における ICT 環境の準備を進めました。

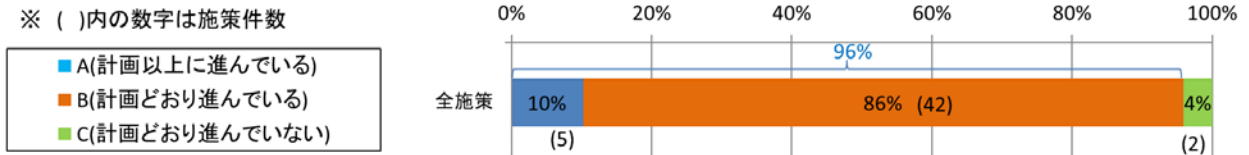
#### 参考：実行施策と分野（4つの柱）の関係

各施策は、一つ又は複数の分野に分類されています。このため、単純に 49 施策全てを集計した場合と、分野ごとに集計した場合では内訳や集計結果が一致しません。

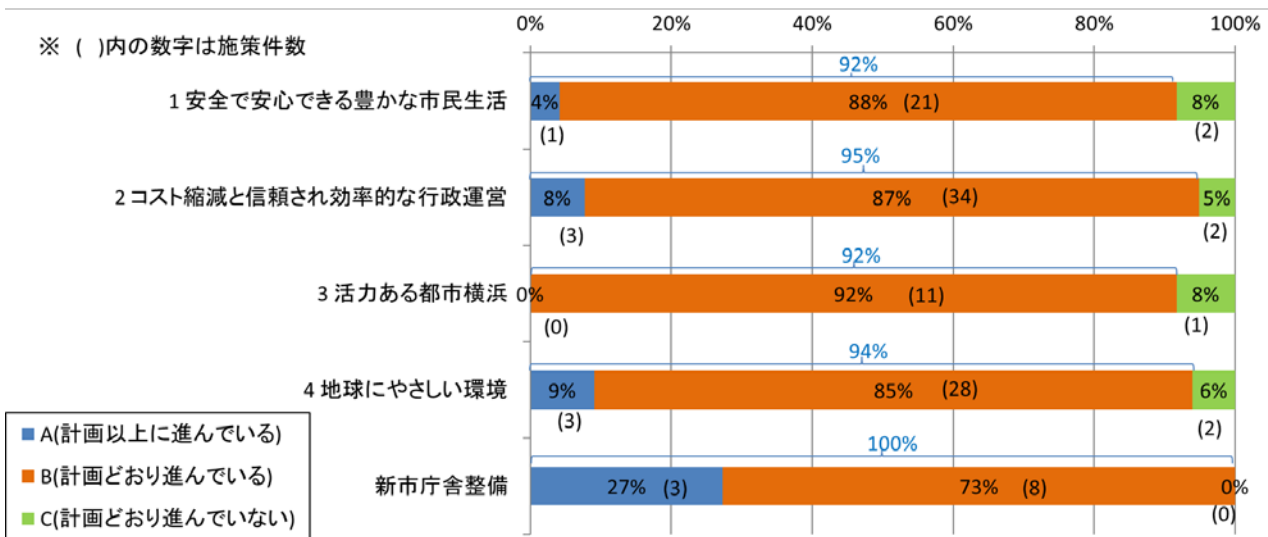


### 3 「実行施策」の最終評価

「実行施策」として掲げた施策について、49 施策のうち、最終評価が A 又は B 評価である施策は、約 96 %にあたる 47 施策となりました。最終振り返りにおける計画全体の進捗評価としては、概ね計画どおり進んだ結果となりました。



4つの柱及び「新市庁舎整備」それぞれの分野における施策の最終評価をまとめると次のグラフ、表のようになりました。新市庁舎整備に係る実行施策は100%がA評価又はB評価となり、計画どおり進んだ結果となりました。



分野 (4つの柱)	施策数			
	A評価	B評価	C評価	合計
1 安全で安心できる豊かな市民生活	1	21	2	24
2 コスト縮減と信頼され効率的な行政運営	3	34	2	39
3 活力ある都市横浜	0	11	1	12
4 地球にやさしい環境	3	28	2	33
新市庁舎整備	3	8	0	11
<b>全施策 (49 施策)</b>	<b>5</b>	<b>42</b>	<b>2</b>	<b>49</b>

## 4 「必要施策」の進捗状況

「必要施策」として掲げた施策について、最終振り返り時点では 13 の施策に関連する取組がありました。

4つの柱及び「新市庁舎整備」の分野ごとの取組内訳は次の表のようになりました。新市庁舎整備に係る施策は3件の取組がありました。

分野（4つの柱）	施策数	取組のあった施策数
1 安全で安心できる豊かな市民生活	11	5
2 コスト縮減と信頼され効率的な行政運営	6	3
3 活力ある都市横浜	6	4
4 地球にやさしい環境	2	1
新市庁舎整備	6	3
全施策	25	13

# III 各施策の状況

## 1 実行施策の振り返り一覧

主に属する分野	施策名	所管局	所管課	26年度目標達成率	27年度目標達成率	28年度目標達成率	29年度目標達成率	26～29年度平均目標達成率	事業状態進捗評価
安全で安心してできる豊かな市民生活	1 社会保障・税番号制度における利活用の検討	総務局	行政・情報マネジメント課	100%	100%	83%	88%	93%	B
	2 地域ICT講習会等の実施	総務局	行政・情報マネジメント課	94%	94%	83%	89%	90%	B
	3 子ども・子育て支援新制度施行に係る電子システムの構築	子ども青少年局	保育・教育運営課	100%	100%	50%	100%	88%	B
	4 母子生活支援施設・助産施設システムの構築・運用(仮)	子ども青少年局	こども家庭課	-	75%	100%	100%	92%	B
	5 医療におけるICT活用の推進	医療局	医療政策課	50%	133%	95%	100%	95%	B
	6 障害者IT講習事業	健康福祉局	障害福祉課	140%	389%	280%	104%	228%	A
	7 インターネットによる都市計画情報の提供	建築局	都市計画課	133%	97%	96%	98%	106%	B
	8 設備司令システムの更新	交通局	電気課	100%	26年度で終了			100%	B
	9 横浜市救急受診ガイド	消防局	救急課	100%	100%	100%	100%	100%	B
	10 消防通信指令システムの強化及び周辺機器更新	消防局	司令課	100%	100%	100%	100%	100%	B
	11 情報教育研修・研究事業 (ICT活用指導力向上研修)	教育委員会	指導企画課	108%	100%	96%	97%	100%	B
	12 情報教育の充実	教育委員会	指導企画課	67%	100%	100%	100%	92%	B
	13 教育情報ネットワーク事業	教育委員会	指導企画課	100%	100%	100%	100%	100%	B
	14 図書館におけるICT活用の促進	教育委員会	調査資料課	100%	100%	100%	100%	100%	B
信頼された行政運営 コスト削減と効果的な	15 市民協働のまちづくり支援・政策支援ツールとしてのGISの活用推進	政策局	政策課	114%	98%	113%	84%	102%	B
	16 人事給与システムの再構築	総務局	労務課	100%	26年度で終了			100%	B
	17 内部情報システムの集約化推進	総務局	ICT基盤管理課	100%	125%	136%	150%	128%	B
	18 住民情報システムの集約化推進	総務局	住民情報システム課	100%	100%	95%	100%	99%	B
	19 公開情報システムの集約化推進	総務局	ICT基盤管理課	150%	100%	150%	130%	133%	A
	20 社会保障・税番号制度導入のシステム対応	総務局	行政・情報マネジメント課	50%	80%	100%	100%	83%	B
	21 庁内ネットワークの整理	総務局	住民情報システム課	100%	50%	100%	100%	88%	A
	22 YCAN接続端末統制基盤の導入	総務局	ICT基盤管理課	100%	120%	100%	100%	105%	B
	23 庁内グループウェアの統合	総務局	ICT基盤管理課	200%	283%	100%	140%	181%	B
	24 YCAN機能強化	総務局	ICT基盤管理課	100%	100%	100%	100%	100%	B
	25 ICTに関する人材の育成	総務局	行政・情報マネジメント課	114%	120%	243%	99%	144%	A
	26 ICT推進体制の強化	総務局	行政・情報マネジメント課	100%	100%	27年度で終了		100%	B
	27 IT予算の総合調整、情報システム調達適正化の継続	総務局	行政・情報マネジメント課	146%	98%	94%	100%	103%	B
	28 ソフトウェア及びハードウェア資産の管理	総務局	ICT基盤管理課	103%	114%	109%	108%	108%	B
	29 情報セキュリティの強化・充実	総務局	行政・情報マネジメント課	107%	102%	113%	118%	110%	B
	30 情報セキュリティ監査の実施	総務局	行政・情報マネジメント課	50%	150%	75%	100%	94%	B



主に属する分野	施策名	所管局	所管課	26年度目標達成率	27年度目標達成率	28年度目標達成率	29年度目標達成率	26～29年度平均目標達成率	事業状態進捗評価
コスト縮減と信頼される行政運営	31 新市庁舎整備におけるICTの活用検討	総務局 建築局	行政・情報マネジメント課 施設整備課	100%	100%	100%	100%	100%	B
	32 公共事業のIT化推進	財政局	公共施設・事業調整課	102%	103%	82%	70%	89%	B
	33 土木工事積算システムの再構築	財政局	公共施設・事業調整課	100%	100%	162%	104%	117%	B
	34 電子入札システム	財政局	契約第一課	105%	101%	101%	100%	102%	B
	35 土地・建物管理システム(新規)構築	財政局	管財課	50%	100%	33%	90%	68%	B
	36 粗大ごみ受付業務の推進	資源循環局	業務課	100%	86%	50%	100%	84%	B
	37 横浜市営住宅管理関連システムの構築・運用	建築局	市営住宅課	100%	100%	80%	100%	95%	B
	38 建築行政の総合的なデータベースシステムの構築・運用	建築局	情報相談課	100%	100%	100%	100%	100%	B
	39 救急活動のICT化	消防局	救急課	100%	50%	75%	50%	69%	C
	40 消防業務支援システムの構築	消防局	企画課	100%	100%	100%	100%	100%	B
	41 横浜市学力・学習状況調査の採点結果集計システムの構築・運用	教育委員会	教育課程推進室	70%	100%	76%	81%	82%	B
活力ある都市横浜	42 オープンデータの推進	政策局	政策課	100%	100%	100%	100%	100%	B
	43 横浜市Webサイト再構築	市民局 総務局	広報課 ICT基盤管理課	100%	30%	6%	100%	59%	C
	44 よこはまウォーキングポイント事業	健康福祉局	保健事業課	146%	97%	92%	100%	109%	B
	45 オープンデータ活用・IT振興事業	経済局	新産業創造課	118%	108%	116%	28年度で終了	114%	B
	46 次期「横浜港港湾情報システム」の構築	港湾局	管財第一課	100%	100%	100%	100%	100%	B
やさ地球に環境し球に環	47 横浜スマートシティプロジェクト	温暖化対策統括本部	プロジェクト推進課	100%	100%	100%	100%	100%	B
	48 低炭素型次世代交通推進事業	温暖化対策統括本部	プロジェクト推進課	100%	90%	100%	100%	98%	B
	49 ICTの活用による環境負荷の低減	総務局	行政・情報マネジメント課	125%	875%	112%	101%	303%	A
(新市庁舎再掲)	17 内部情報システムの集約化推進	総務局	ICT基盤管理課	100%	125%	136%	150%	128%	B
	18 住民情報システムの集約化推進	総務局	住民情報システム課	100%	100%	95%	100%	99%	B
	19 公開情報システムの集約化推進	総務局	ICT基盤管理課	150%	100%	150%	130%	133%	A
	21 庁内ネットワークの整理	総務局	住民情報システム課	100%	50%	100%	100%	88%	A
	22 YCAN接続端末統制基盤の導入	総務局	ICT基盤管理課	100%	102%	100%	100%	105%	B
	23 庁内グループウェアの統合	総務局	ICT基盤管理課	200%	283%	100%	140%	181%	B
	24 YCAN機能強化	総務局	ICT基盤管理課	100%	100%	100%	100%	100%	B
	29 情報セキュリティの強化・充実	総務局	行政・情報マネジメント課	107%	102%	113%	118%	110%	B
	31 新市庁舎整備におけるICTの活用検討	総務局 建築局	行政・情報マネジメント課 施設整備課	100%	100%	100%	100%	100%	B
	47 横浜スマートシティプロジェクト	温暖化対策統括本部	プロジェクト推進課	100%	100%	100%	100%	100%	B
49 ICTの活用による環境負荷の低減	総務局	行政・情報マネジメント課	125%	875%	112%	101%	303%	A	



## 2 実行施策の個別振り返り

施策 01	社会保障・税番号制度における利活用の検討	所管局	新市庁舎整備
		総務局	
取組内容	社会保障・税番号制度の導入に当たって、番号利用事務及び本市独自活用について検討します。		
目的	添付書類の削減や、的確な情報のお知らせ等が実現し、市民の方にとって利便性が向上します。書類確認作業等の簡素化、内部管理事務の集約、重複事務の整理合理化等による業務の効率化が実現します。		

### 【29 年度目標の達成率評価・29 年度の実績】

指標	指標の目標値	目標値に対する結果	達成状況
① 個人番号カードの多目的利用 ② 機能集約に向けた継続的な検討 ③ マイナポータルを利用したワンストップサービス等の機能について、導入事務の検討	① 利用開始 ② 実施 ③ 実施	① 検討の実施 ② 実施 ③ 30 年度からの電子申請導入を決定	88%
29 年度の実績			
29 年 7 月 16 日より、他機関等との情報連携を実施しています。国が示す「子育てワンストップサービス実現に向けたアクションプラン」の方針を踏まえ、マイナポータルでの子育てに関する行政サービス・手続の案内を開始しました。児童手当現況届及び保育所入所事務における電子申請導入について、平成 30 年度からの実現に向けた庁内検討・調整を実施しました。マイキープラットフォーム運用協議会に参加し、国の検討状況等について情報収集に努め、関係課への情報共有を行いました。			

### 【最終評価】

29 年度の事業の状態 (計画策定時予定)	29 年度の事業の状態 (実績)	進捗評価
推進	推進	B (計画どおり進んでいる)

### 【4 か年の成果について】

制度導入を契機として、マイナポータルを利用したワンストップサービス等、市民の利便性向上に資する取組を実施しました。
---

施策 02	地域 ICT 講習会等の実施	所管局	新市庁舎 整備
		総務局等	
取組内容	地区センターを活用した地域での ICT 講習会などを実施又は支援します。		
目的	市民の ICT 知識・セキュリティ意識が向上し、市民が様々な ICT サービスを安全に受けられるようになります。		

#### 【29 年度目標の達成率評価・29 年度の実績】

指標	指標の目標値	目標値に対する結果	達成状況
ICT 講習会の開催	18 区	16 区	89%
<b>29 年度の実績</b>			
16 区において、区主催のほか、地区センター・コミュニティハウス等の自主事業も含めてパソコン講習会や PC 相談会が実施されています。			

#### 【4 か年の最終評価】

29 年度の事業の状態 (計画策定時予定)	29 年度の事業の状態 (実績)	進捗評価
推進	推進	<b>B</b> (計画どおり進んでいる)

#### 【4 か年の成果について】

最大 17 区でボランティアグループや NPO 法人がパソコン講座を開催しました。最近ではパソコン教室、パソコン相談だけでなく、小学生向けプログラミング教室やシニア向けスマホ・タブレット講座も開催されるなど多彩な内容となっています。
--

施策 03	子ども・子育て支援新制度施行に係る電子システムの構築	所管局	新市庁舎整備
		こども 青少年局	
取組内容	福祉保健システムの改修を行い、新たなサブシステム（子ども・子育て支援システム）の設計及び開発等を行います。		
目的	子ども・子育て関連3法の施行（27年4月施行）に伴い、増加する事務の効率化及び市民サービスの向上を図ります。		

#### 【29年度目標の達成率評価・29年度の実績】

指標	指標の目標値	目標値に対する結果	達成状況
① 安定稼働の実現	① 安定稼働	① 安定稼働	100%
② 開発（処遇改善等加算2の対応・マイナンバー連携）	② 実施	② 実施	
<b>29年度の実績</b>			
システム改修を完了し、運用に向けた準備が達成できています。			

#### 【4か年の最終評価】

29年度の事業の状態 （計画策定時予定）	29年度の事業の状態 （実績）	進捗評価
運用・開発	運用・開発	<b>B</b> (計画どおり進んでいる)

#### 【4か年の成果について】

システム構築により、新制度施行に伴う区の事務負担軽減や、施設への支払い方法の簡素化等へ寄与することができました。また、年々増加するデータ量等に対応するため、システム操作性の改良を図り、区局における負担が軽減されました。
---

施策 04	母子生活支援施設・助産施設システムの構築・運用（仮）	所管局	新市庁舎整備
		こども青少年局	
取組内容	母子生活支援施設及び助産施設の入退所や施設利用者が負担する金額の決定状況等について、所管課であるこども青少年局こども家庭課及び各区福祉保健センターで確認・情報入力ができるシステムの構築・運用を行う。		
目的	母子生活支援施設及び助産施設の入退所や施設利用者が負担する金額の決定状況について、相談を受け付ける区福祉保健センターにおいてシステム上で情報の確認ができるようにすることで、市民サービスの充実や児童虐待の防止等を目指します。		

#### 【29 年度目標の達成率評価・29 年度の実績】

指標	指標の目標値	目標値に対する結果	達成状況
① 運用区数	① 18 区	① 18 区	100%
② マイナンバー対応	② 対応する	② 対応済	
<b>29 年度の実績</b>			
特に大きなトラブルの発生等なく順調に運用しました。			

#### 【4 か年の最終評価】

29 年度の事業の状態 （計画策定時予定）	29 年度の事業の状態 （実績）	進捗評価
運用・拡大	運用・拡大	<b>B</b> (計画どおり進んでいる)

#### 【4 か年の成果について】

母子生活支援施設・助産施設システムの構築を完了し、安定的な運用を実現できました。
--

施策 05	医療における ICT 活用の推進	所管局	新市庁舎 整備
		医療局	

取組内容	ネットワークを介した医療機関等の円滑・密接な連携、医療に関する様々なデータの収集・分析による効率的・効果的な病院経営や医療政策の実現等、ICT を活用した各種施策を推進します。
目的	ICT を活用した地域医療連携ネットワークを構築することにより、医療機関間の迅速で効率的な情報共有や、病状に応じた質の高い医療提供等を推進します。また、医療ビッグデータの収集・分析等により、効率的・効果的な医療政策を実現します。

### 【29 年度目標の達成率評価・29 年度の実績】

指標	指標の目標値	目標値に対する結果	達成状況
①ガイドライン作成	① 作成	① 作成	100%
②医療ビッグデータ分析 環境の構築、活用	② 構築、活用	② 構築、活用	
<b>29 年度の実績</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>取組推進に向け本市の共通指針等を示した「横浜市における ICT を活用した地域医療連携ネットワークガイドライン」を策定しました。</li> <li>「医療ビッグデータ活用システム」を構築しました。</li> </ul>			

### 【4 か年の最終評価】

29 年度の事業の状態 (計画策定時予定)	29 年度の事業の状態 (実績)	進捗評価
推進	推進・運用	<b>B</b> (計画どおり進んでいる)

### 【4 か年の成果について】

<p>治療等に必要診療情報や患者情報を、医療機関など関係者間で参照・共有することを可能とする先進的な取組に対し支援を行いました。また、本市に適した ICT を活用した地域医療連携ネットワークのあり方を関係者により構成される研究会にて検討するとともに、取組推進に向け本市の共通指針等を示した「横浜市における ICT を活用した地域医療連携ネットワークガイドライン」を策定しました。さらに、市内の医療実態把握に有用な医療ビッグデータ分析システムを独自に構築しました。</p>
---

施策 06	障害者 IT 講習事業	所管局	新市庁舎 整備
		健康福祉局	

取組内容	障害のある方を対象に、パソコン講習会等の開催及びパソコン相談室の運営を行います。また、パソコン講習会等及びパソコン相談室で活動するボランティアの養成講座を実施します。
目的	障害のある方の情報格差の解消、ICT 情報能力向上を図ります。

### 【29 年度目標の達成率評価・29 年度の実績】

指標	指標の目標値	目標値に対する結果	達成状況
① 定員に対する受講者数	① 8 割以上	① 69.1%	104%
② タブレット講習会の実施	② 10 回以上	② 11 回実施	
③ 開催講座数	① 講習会 24 講座、ボランティア養成講座 2 講座	③ 講習会 30 講座、ボランティア養成講座 2 講座	
③ パソコン相談室実施日数	② 150 日以上	④ 147 日	

#### 29 年度の実績

- ・利用者ニーズに対応するため、タブレット端末を用いた iPad 講習会を 11 回実施しました。
- ・毎月、広報よこはま及びホームページで周知を行いました。

### 【4 か年の最終評価】

29 年度の事業の状態 (計画策定時予定)	29 年度の事業の状態 (実績)	進捗評価
推進	推進	A (計画以上に進んでいる)

### 【4 か年の成果について】

受講者数は、4 か年平均で定員の約 75%、4 か年合計で 702 人となっており、当初目標を達成することができませんでしたが、欠員が生ずる主な要因は、受講者確定後のキャンセルによるもので、応募者数は、4 か年平均で定員の約 1.1 倍となっています。

なお、パソコン相談室の相談件数は、4 か年平均で約 557 件/年でした。

施策 07	インターネットによる都市計画情報の提供	所管局	新市庁舎 整備
		建築局	

取組内容	インターネットを活用したシステム（i-マッピー）において、用途地域や都市計画施設等の都市計画による制限や、建築基準法に基づく建築協定区域や災害危険区域などの建築・造成等に関する制限及びまちづくり協議地区等の地域まちづくりの計画に関する情報などを提供しています。
目的	多種多様な都市計画に関する情報を一元的に管理しシステム化・データベース化をすることにより、市民・企業や行政担当者への的確かつ迅速に提供し、効率的な行政執行を図ります。

#### 【29 年度目標の達成率評価・29 年度の実績】

指標	指標の目標値	目標値に対する結果	達成状況
① i-マッピーの利用件数の増加	① 前年度比 5%以上増加	① 前年度比 0.5%の増加	98%
② 操作性の向上と、掲載情報の付加	② 実施	② 実施	
<b>29 年度の実績</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・月 1 回の定期更新に加え、都市計画決定の告示に合わせたデータ更新を遅滞なく行いました。</li> <li>・都市計画事業認可（都市施設）状況を新たに表示し、システムの機能向上を行いました。</li> </ul>			

#### 【4 か年の最終評価】

29 年度の事業の状態 (計画策定時予定)	29 年度の事業の状態 (実績)	進捗評価
企画・検討 運用	企画・検討 運用	<b>B</b> (計画どおり進んでいる)

#### 【4 か年の成果について】

インターネットを活用したシステム（i-マッピー）の認知度が高まり、市民がまちづくりを身近に感じる傾向に進んでいると考えられます。
--



施策 08	設備司令システムの更新	所管局	新市庁舎 整備
		交通局	
取組内容	地下鉄各駅のエスカレータやエレベータ等の機械設備並びに防災設備等の状態を、司令所や保守区で監視する「設備司令システム」を更新します。		
目的	火災や設備故障が発生した場合に司令所や保守区の端末で発生場所や故障機器等の情報をいち早く把握することで、迅速な対応が行えるようにします。		

### 【29年度目標の達成率評価・29年度の実績】

指標	指標の目標値	目標値に対する結果	達成状況
-	-	-	-
<b>29年度の実績</b>			
26年度のシステム更新完了とともに、システム運用を開始し、本施策の行動計画は終了しました。			

### 【終了年度評価】

終了年度の事業の状態 (計画策定時予定)	終了年度の事業の状態 (実績)	進捗評価
開発・構築	開発・構築	<b>B</b> (計画どおり進んでいる)

### 【成果】

<p>予定通りシステムの更新が完了しました。既設システムでは監視端末が司令所と保守区のみでしたが、更新後は本庁にも設置され状態監視が可能となりました。また、監視項目の分類、表示、ソート、絞込み機能を拡充させました。</p>
---

施策 09	横浜市救急受診ガイド	所管局	新市庁舎 整備
		消防局	

取組内容	市民の皆様が、急な病気やケガをした際に、専用のウェブページにアクセスし、該当する症状を選択することで緊急度を判定します。緊急度の判定結果を救急車の要請や医療機関受診の判断の目安として利用します。
目的	市民の皆様が、救急車の要請や医療機関受診を判断する際の手助けをすることで、緊急度の高い傷病者の迅速な搬送及び救急医療資源の有効活用を図ります。

#### 【29 年度目標の達成率評価・29 年度の実績】

指標	指標の目標値	目標値に対する結果	達成状況
① 市民の利用者の増加 (アクセス解析)	① 増加	① 増加	100%
② 市民への周知実施	② 実施	② 実施	
<b>29 年度の実績</b>			
ウェブページの利用状況調査及びシステムの管理を行いました。			

#### 【4 か年の最終評価】

29 年度の事業の状態 (計画策定時予定)	29 年度の事業の状態 (実績)	進捗評価
運用	運用	<b>B</b> (計画どおり進んでいる)

#### 【4 か年の成果について】

<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の皆様が、救急車の要請や医療機関受診を判断する際の手助けとなっています。</li> <li>緊急度の高い傷病者の迅速な搬送及び救急医療資源の有効活用につながっています。</li> <li>市民の皆様の安全、安心につながっています。</li> </ul>
---

施策 10	消防通信指令システムの強化及び周辺機器更新	所管局	新市庁舎整備
		消防局	
取組内容	機器の老朽化に対応するため、現在運用している 119 番通報の受付から災害種別に応じた出動指令までを自動化する指令システムと連動し、周辺機器を更新するものです。		
目的	老朽化した機器を更新することで、システムの安定稼働を確保し、多様化・複雑化する消防・救急事案への対応能力を強化します。		

#### 【29 年度目標の達成率評価・29 年度の実績】

指標	指標の目標値	目標値に対する結果	達成状況
① OS のバージョンアップによる OA 管理の適正化	① 実施	① 実施	100%
② システムの安定稼働	② 実施	② 実施	
③ 署所設備の機器の適正化及び運用の効率化	③ 実施	③ 実施	
<b>29 年度の実績</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・車両に搭載している AVM（車両動態位置管理システムの車載端末）150 台分の更新が完了しました。</li> <li>・南、西、栄消防署の署所設備の更新が完了しました。</li> </ul>			

#### 【4 か年の最終評価】

29 年度の事業の状態 (計画策定時予定)	29 年度の事業の状態 (実績)	進捗評価
運用	運用	<b>B</b> (計画どおり進んでいる)

#### 【4 か年の成果について】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・予定実施項目機器の OS は、バージョンアップにより OA 管理の適正化を図ることができました。</li> <li>・機器を更新することで、システムの安定稼働を図ることができました。</li> <li>・多様化・複雑化する消防・救急事案に対応するため改修を実施し、災害対応能力の強化を図ることができました。</li> <li>・AVM 及び署所設備の設計思想を見直し、機器の適正化及び運用の効率化を図ることができました。</li> </ul>
---

施策 11	情報教育研修・研究事業 (ICT 活用指導力向上研修)	所管局	新市庁舎 整備
		教育委員会 事務局	
取組内容	コンピュータ操作研修や講演会により教職員のコンピュータ活用能力の向上を図るとともに、教育の情報化推進部会を開催し授業研究を行います。		
目的	ICT 機器の活用方法を身に付けることによって、より魅力的で効果的な授業を展開するため。		

#### 【29 年度目標の達成率評価・29 年度の実績】

指標	指標の目標値	目標値に対する結果	達成状況
① 「教員の ICT 活用指導力の基準」で「わりとできる」「ややできる」とした項目の割合 ② 研究成果発表	① 84% ② 1 回以上	① 78.5% ② 1 回	97%
29 年度の実績			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校へのインストラクター派遣研修・・・126 校 1441 名に研修を実施しました。</li> <li>・夏季集合研修・・・39 講座、633 名に研修を実施しました。</li> <li>・講演会・・・校種別に合計 4 回開催。424 名が参加しました。</li> <li>・各学校の教職員が自由に投稿できる、タブレット PC 活用事例集 HP を活用しました。</li> </ul>			

#### 【4 か年の最終評価】

29 年度の事業の状態 (計画策定時予定)	29 年度の事業の状態 (実績)	進捗評価
企画・検討 推進	企画・検討 推進	<b>B</b> (計画どおり進んでいる)

#### 【4 か年の成果について】

既存の ICT 機器やネットワークの活用に加え、新規導入された機器等についても研修や授業実践者の発表による共有等を通して活用を促進し、教員の ICT 活用指導力の向上に寄与することができました。
---

施策 12	情報教育の充実	所管局	新市庁舎 整備
		教育委員会 事務局	
取組内容	小中学校等の教育機関へ ICT 設備を導入し、児童生徒や教職員が ICT 利活用、情報教育を効率的に行える環境を整備します。		
目的	小中学校等において、「ICT 学習よこはまスタンダード」に基づき、児童生徒の情報活用能力と情報モラルの向上を図るため。		

### 【29 年度目標の達成率評価・29 年度の実績】

指標	指標の目標値	目標値に対する結果	達成状況
① 機器更新	① 実施	① 実施	100%
② 無線 LAN 環境整備	② 実施	② 実施	
③ 学校サポートデスク 担当者が市立学校全 校を訪問	③ 実施	③ 実施	
<b>29 年度の実績</b>			
<p>① 中学校のコンピュータ室について、リース満了機器を更新整備しました。</p> <p>② 小中義務教育学校においてタブレット型コンピュータが活用できるよう、無線 LAN が使用できる環境を整備しました。</p> <p>③ 学校サポートデスクによる通常サポートに加え、学校訪問を通じたネットワーク環境のメンテナンスを行いました。</p>			

### 【4 か年の最終評価】

29 年度の事業の状態 (計画策定時予定)	29 年度の事業の状態 (実績)	進捗評価
推進	推進	<b>B</b> (計画どおり進んでいる)

### 【4 か年の成果について】

全小中義務教育学校にタブレット型コンピュータを整備し、無線 LAN によるインターネット接続が可能な環境を整備しました。また、学校サポートデスクによる通常サポートに加え、全校を訪問しネットワーク環境のメンテナンスを行いました。
---

施策 13	教育情報ネットワーク事業	所管局	新市庁舎 整備
		教育委員会 事務局	
取組内容	教育委員会事務局と全市立学校をネットワークシステム（通称 Y・Y NET）で結びます。		
目的	Y・Y NET を運用し、情報教育の推進を図ります。		

#### 【29 年度目標の達成率評価・29 年度の実績】

指標	指標の目標値	目標値に対する結果	達成状況
① アクセス数	① 前年実績以上	① 前年実績並み	100%
② 稼働率	② 100%	② 100%	
<b>29 年度の実績</b>			
① システム機器更新準備のための情報収集を実施しました。			
② 入札により設計事業者を決定しました。			

#### 【4 か年の最終評価】

29 年度の事業の状態 (計画策定時予定)	29 年度の事業の状態 (実績)	進捗評価
運用	運用	<b>B</b> (計画どおり進んでいる)

#### 【4 か年の成果について】

システムの安定稼働を図りながら、無線 LAN 接続環境の整備を進めており、各学校の学習用ネットワークインフラとしての役割を果たすことができました。
---

施策 14	図書館における ICT 利活用の促進	所管局	新市庁舎 整備
		教育委員会 事務局	
取組内容	オンライン・データベースの拡充など、図書館の ICT 環境を整備します。オンライン・データベース操作研修などにより、利活用の促進を図ります。		
目的	市民の調査研究活動支援の向上を図ります。		

#### 【29 年度目標の達成率評価・29 年度の実績】

指標	指標の目標値	目標値に対する結果	達成状況
① 未導入オンライン・データベース導入調査	① 実施	① 実施	100%
② ICT・オンライン・データベース活用研修	② 年1回以上	② 年1回実施	
<b>29 年度の実績</b>			

- ・未導入のオンライン・データベースについて調査しました。
- ・オンライン・データベースの業者を招いて研修を行いました。
- ・中央図書館のインターネット用端末5台、オンライン・データベース4台を更新、及び、地域図書館にインターネット、オンライン・データベース共有を導入しました。それに合わせて中央図書館のオンライン・データベースの印刷マニュアルを整備しました。

#### 【4 か年の最終評価】

29 年度の事業の状態 (計画策定時予定)	29 年度の事業の状態 (実績)	進捗評価
推進	推進 企画・検討	<b>B</b> (計画どおり進んでいる)

#### 【4 か年の成果について】

- ・未導入のオンライン・データベースについて調査し、導入を検討しました。
- ・オンライン・データベースの利用研修を毎年度行い、職員の ICT スキルが向上しました。
- ・中央図書館のインターネット端末5台、オンライン・データベース4台及び、地域館の各館インターネット、オンライン・データベース共有端末を更新しました。



施策 15	市民協働のまちづくり支援・政策支援ツールとしての GIS の活用推進	所管局	新市庁舎整備
		政策局	

取組内容	地理空間情報を簡単に登録・共有・提供できる WebGIS「よこはまっふ」、統計情報が地図上で閲覧、集計できる「統計 GIS」の運用管理を行うとともに、データのオープンデータ化も含め、GIS の活用推進を図ります。
目的	GIS の活用により、市民協働のまちづくり活動での情報共有や、詳細な情報の分析結果を基にした政策立案が可能になります。

### 【29 年度目標の達成率評価・29 年度の実績】

指標	指標の目標値	目標値に対する結果	達成状況
① よこはまっふ公開版、統計 GIS の合計アクセス数 ② GIS 研修受講人数	③ 638 万件 ④ 200 名	① 600 万件 ② 146 名	84%
<b>29 年度の実績</b>			
GIS の運用と利用拡大を図りました。			

### 【4 か年の最終評価】

29 年度の事業の状態 (計画策定時予定)	29 年度の事業の状態 (実績)	進捗評価
運用・拡大	運用・拡大	<b>B</b> (計画どおり進んでいる)

### 【4 か年の成果について】

GIS の活用による、市民協働のまちづくり活動での情報共有や、詳細な情報の分析結果を基にした政策立案を推進することができました。
--

施策 16	人事給与システムの再構築	所管局	新市庁舎 整備
		総務局	

取組内容	人事給与システム※を再構築し、制度改正対応や機能追加等を行います。
目的	システム稼働から 15 年以上が経過し、度重なる制度改正でプログラムが複雑化し、今後予定されている改修が困難となっています。また、庶務事務システムや追給戻入システムとのデータ連携が不十分で、同じデータを二重に入力する必要があるなど業務の効率化を阻害しています。これらの課題を解消することで、人事給与業務をより効率化し、システムの利便性を向上させます。

※職員の人事・給与データの異動、給与支給、年末調整などの事務処理を行うシステム

### 【29 年度目標の達成率評価・29 年度の実績】

指標	指標の目標値	目標値に対する結果	達成状況
-	-	-	-
<b>29 年度の実績</b>			
26 年度のシステム更新完了とともに、システム運用を開始し、本施策の行動計画は終了しました。			

### 【終了年度評価】

終了年度の事業の状態 (計画策定時予定)	終了年度の事業の状態 (実績)	進捗評価
開発・構築 運用	開発・構築 運用	<b>B</b> (計画どおり進んでいる)

### 【成果】

<p>① 他システムとの連携を強化したことで業務を軽減しました。</p> <p>② データ検索抽出機能を新規構築したことで、自席で作業を行う事ができるようになり、業務の効率化につながりました。</p> <p>③ 一部帳票の出力方法を紙媒体から電子帳票に変更あるいは廃止することで、ペーパーレス化を推進することができました。</p> <p>④ マニュアルを改訂することで、入力ミスを減らすことができました。</p> <p>⑤ マイナンバー制度導入に向けて新たな画面を作成しました。</p>
---

施策 17	内部情報系システムの集約化推進	所管局	新市庁舎整備
		総務局	●

取組内容	内部事務情報を扱うシステムの集約基盤を構築し、順次システムの集約を進めます。集約にあたっては、仮想化技術を活用し、運用管理の効率化とシステム資源の効率化を図ります。
目的	仮想化技術を活用したシステム集約化により、サーバー台数や経費の削減が期待できます。どのようなシステムを集約化することが効果的なのか分析し、庁内システムを集約化する際の方向性や基準について検討します。

### 【29 年度目標の達成率評価・29 年度の実績】

指標	指標の目標値	目標値に対する結果	達成状況
① 集約システムの運用	① 9 システム実施	① 18 システム実施	150%
② 仮想化プラットフォームの新機能の拡張	② 実施	② 実施	

#### 29 年度の実績

- ・平成 29 年度は以下の集約を実施しました。
  - ・庶務事務システム（総務局）
  - ・広聴相談 DB システム（市民局）
  - ・産業廃棄物情報管理システム（資源循環局）・・・等 計 18 システム（44 システムが稼働）
- ・バックアップ環境の機能拡張を実施しました。

### 【4 か年の最終評価】

29 年度の事業の状態 (計画策定時予定)	29 年度の事業の状態 (実績)	進捗評価
開発・構築 運用・拡大	開発・構築 運用・拡大	<b>B</b> (計画どおり進んでいる)

### 【4 か年の成果について】

システムの集約基盤を予定より早期に構築出来たため、当初計画を上回り、累計 44 システムの集約を実施しました。今後においても、各システムの新規開発や再構築、機器更新などの機会をとらえて引き続き集約化を進めます。

施策 18	住民情報系システムの集約化推進	所管局	新市庁舎 整備
		総務局	●

取組内容	市民サービスの提供に使用しているシステムについて、既存の情報共有基盤システムを利用し集約を進めます。また機器の更新に合わせ、複数のサーバーを集約することが可能となる仮想化技術を導入し、ハードウェアの削減にも取り組みます。
目的	業務ごとに個別に整備されたシステムを集約することで、データの相互連携による市民サービスの向上と機器の共通利用によるシステム資源の効果的な活用を図り、経費の削減を実現します。また、従来は分散していた機器やシステム運用等の管理を1つの部署に集約して実施することが可能となり、市民対応を行う業務部門の運用負荷が軽減されます。

#### 【29年度目標の達成率評価・29年度の取組実績】

指標	指標の目標値	目標値に対する結果	達成状況
① 新たに集約したシステム数	① 3システム	① 3システム	100%
② 年間稼働率	② 99.9%以上	② 99.9%以上	
<b>29年度の取組実績</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・番号制度の開始に伴い、データ連携の仕組みを整備しました。</li> <li>・基盤システムを再構築し、仮想化基盤上に移行しました。</li> <li>・新たに3つの業務システムを集約しました。</li> </ul>			

#### 【4か年の最終評価】

29年度の事業の状態 (計画策定時予定)	29年度の事業の状態 (実績)	進捗評価
運用・拡大	運用・拡大	<b>B</b> (計画どおり進んでいる)

#### 【4か年の成果について】

市民の情報を扱うシステムを集約するためのインフラとして、運用管理の効率化とシステム資源の効果的な活用を可能とする仮想化基盤を整備しました。 また、システムの集約化を推進し、29年度までに合計12システムを情報共有基盤上に集約しました。
--

施策 19	公開情報系システムの集約化推進	所管局	新市庁舎整備
		総務局	●
取組内容	所管課が個別に構築し、インターネットに公開しているシステムについて、集約基盤を構築し、順次システムの集約を進めます。集約にあたっては、仮想化技術を活用し、運用管理の効率化とシステム資源の効率化を図ります。		
目的	仮想化技術を活用したシステム集約化により、サーバー台数や経費の削減が期待できるほか、各所管課の機器管理にかかる運用負荷を軽減します。		

### 【29 年度目標の達成率評価・29 年度の実績】

指標	指標の目標値	目標値に対する結果	達成状況
① 利用システム数	① 5 システム	① 7 システム	130%
② 機器削減台数	② 10 台以上	② 12 台	
<b>29 年度の実績</b>			
<p>平成 29 年度は以下の集約を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜市会情報システム（議会局）</li> <li>・教育委員会事務局内緊急連絡システム（教育委員会事務局）</li> <li>・消防局講習管理システム（消防局）・・・以上 計 3 システム（7 システムが稼働）</li> </ul>			

### 【4 か年の最終評価】

29 年度の事業の状態 （計画策定時予定）	29 年度の事業の状態 （実績）	進捗評価
運用	運用・拡大	<b>A</b> (計画以上に進んでいる)

### 【4 か年の成果について】

<p>新規システムの利用開始を、当初の計画外で実施したこともあり、計画を上回る 7 システムの利用を実現することが出来ました。</p> <p>今後においても、各システムの新規開発や再構築、機器更新などの機会をとらえて引き続き集約化を進めます。</p>
---

施策 20	社会保障・税番号制度導入のシステム対応	所管局	新市庁舎 整備
		総務局	

取組内容	社会保障・税番号制度を導入するにあたって必要なシステム改修を実施します。
目的	社会保障・税番号制度を本市で円滑に導入し、市民の利便性の向上や業務の効率化を図ります。

#### 【29年度目標の達成率評価・29年度の取組実績】

指標	指標の目標値	目標値に対する結果	達成状況
① 総合運用テスト	① 実施	① 実施	100%
② 情報連携	② 開始	② 開始	
③ 関連システムの番号 制度対応	③ 対応完了	③ 対応完了	
<b>29年度の取組実績</b>			
他都市等との情報連携を実施しました。			

#### 【4か年の最終評価】

29年度の事業の状態 (計画策定時予定)	29年度の事業の状態 (実績)	進捗評価
開発・構築	開発・構築	<b>B</b> (計画どおり進んでいる)

#### 【4か年の成果について】

必要なシステム構築・改修及びテストを実施し、他都市等との情報連携の実施を円滑に開始することができました。
--

施策 21	庁内ネットワークの整理	所管局	新市庁舎整備
		総務局	●

取組内容	社会保障・税番号制度導入に伴い、住民情報を取り扱う基幹ネットワークを、全国自治体のネットワークである LGWAN と安全に接続できるよう、庁内のネットワーク管理体制、接続形態を見直します。
目的	行政情報通信基盤（YCAN※）とのみ接続している LGWAN を、安全性を確保しながら住民情報を扱う基幹ネットワークにも接続し、社会保障・税番号制度に係る業務を円滑に遂行します。

※ YCAN：市役所内部の庁内ネットワーク。横浜市職員が利用し、業務に関連した各種サービスが提供されている。

### 【29 年度目標の達成率評価・29 年度の実績】

指標	指標の目標値	目標値に対する結果	達成状況
基幹ネットワークと LGWAN を接続したネットワークの利用	開始	開始	100%

#### 29 年度の実績

29 年度は以下の取組みにより、ネットワーク構成の変更と、監視体制の強化を行い、安定稼働を確保しました。

○LGWAN 接続回線を神奈川県セキュリティクラウド（KSC）経由に切替え

○LGWAN との接続状況について、住民情報系ネットワークの監視体制に組入れ

### 【4 か年の最終評価】

29 年度の事業の状態 （計画策定時予定）	29 年度の事業の状態 （実績）	進捗評価
開発・構築	運用	A (計画以上に進んでいる)

### 【4 か年の成果について】

住民情報系ネットワークと行政情報系ネットワークの独立を維持しつつ、社会保障・税番号制度に対応したネットワーク環境を構築、運用することができました。



施策 22	YCAN 接続端末統制基盤の導入	所管局	新市庁舎 整備
		総務局	●

取組内容	行政情報通信基盤（YCAN）に接続する端末の統制基盤を構築し、職員個人による作業の省力化を図りながら、セキュリティレベルを一元管理できるシステムを整備・運用します。
目的	YCAN 接続端末の設定を一元的に管理することにより、職員の作業負荷を低減します。また、多様化する各種デバイスを YCAN に安全に接続できる仕組みの基盤とするとともに、セキュリティ対処策の迅速な全庁展開を実現し、利用者端末及びネットワーク全体の安全性を向上させます。

#### 【29 年度目標の達成率評価・29 年度の実績】

指標	指標の目標値	目標値に対する結果	達成状況
運用開始する区局	企業局を除く全区局	企業局を除く全区局	100%
<b>29 年度の実績</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全庁的な端末の統制基盤への移行を完了しました。</li> <li>・ 移行期間中は、移行サポート窓口を開設し移行作業を支援しました。</li> <li>・ YCAN 接続端末統制基盤の運用体制を構築し、運用を開始しました。</li> </ul>			

#### 【4 か年の最終評価】

29 年度の事業の状態 (計画策定時予定)	29 年度の事業の状態 (実績)	進捗評価
開発・構築 運用・拡大	開発・構築 運用・拡大	<b>B</b> (計画どおり進んでいる)

#### 【4 か年の成果について】

<p>これまで利用者が個々に行っていた設定作業を、管理責任者が一元的に実施・管理することで、個々の利用者のスキルに依存することなく、全ての利用者が、セキュリティが確保された環境で安心して YCAN を利用することが可能になりました。また、認証方式を利用者認証方式に変更することで、テレワークなどの新たなワークスタイルへ対応するための環境を安全に構築しました。</p>
---

施策 23	庁内グループウェアの統合	所管局	新市庁舎整備
		総務局	●

取組内容	各区局で個別に構築、運用しているグループウェア※について、全庁で1つのグループウェアに統合します。
目的	全庁グループウェアの構築により、区局を超えて業務スケジュールや施設予約情報等を共有し、関連部署が連携して業務を推進する基盤とします。また、個別のサーバー機器を統合することにより機器調達コストを削減します。

※組織内のコンピュータネットワークを活用した情報共有のためのシステムであり、情報の交換や共有、またスケジュール管理等の業務の効率化のための機能が備わったもの。

### 【29年度目標の達成率評価・29年度の実績】

指標	指標の目標値	目標値に対する結果	達成状況
① 試行運用 ② 稼働率	① 5区局での試行運用開始 ② 99.9%以上	① 9区局での運用開始 ② 99.9%以上	140%

#### 29年度の実績

・以下の9区局で利用を開始しました。

金沢区、栄区、建築局、環境創造局、港湾局、道路局、監査事務局、選挙管理委員会事務局、港南区  
※道路局、監査事務局、選挙管理委員会事務局、港南区は平成30年度以降参加予定でしたが前倒しで参加しました。

### 【4か年の最終評価】

29年度の事業の状態 (計画策定時予定)	29年度の事業の状態 (実績)	進捗評価
運用・拡大	運用・拡大	<b>B</b> (計画どおり進んでいる)

### 【4か年の成果について】

全職員のうち、半数以上の職員が区局共通グループウェアを利用してスケジュールや各種情報を共有しています。  
業務時間における年間の稼働率は99.9%以上となっています。(計画的なメンテナンスを除く)

施策 24	YCAN 機能強化	所管局	新市庁舎 整備
		総務局	●
取組内容	新市庁舎整備に向け、行政情報通信基盤（YCAN）の機能強化やサービス拡充を図ります。		
目的	新市庁舎への移転を見据え、業務の進め方の見直しや新しい働き方が検討されていく中で、必要となる ICT 環境を整備します。		

### 【29 年度目標の達成率評価・29 年度の実績】

指標	指標の目標値	目標値に対する結果	達成状況
① 新市庁舎への YCAN 整備のための予算要求	① 実施	① 実施	100%
② 統合ファイルサーバー構築業務委託の予算要求	② 実施	② 実施	
③ Web メール試行環境の構築	③ 実施	③ 実施	
④ 新たなテレワーク試行環境の構築	④ 実施	④ 実施	
<b>29 年度の実績</b>			
新市庁舎への YCAN 整備のための予算を確保し、「新市庁舎における横浜市行政情報ネットワーク設計・構築業務委託」の公告を行いました。			

### 【4 か年の最終評価】

29 年度の事業の状態 (計画策定時予定)	29 年度の事業の状態 (実績)	進捗評価
開発・構築	開発・構築	<b>B</b> (計画どおり進んでいる)

### 【4 か年の成果について】

・新市庁舎に向けての試行無線 LAN の運用を実施し、新市庁舎への YCAN 整備におけるスケジュール作成、予算確保、構築委託の契約手続きを進めました。
--

施策 25	ICT に関する人材の育成	所管局	新市庁舎 整備
		総務局	

取組内容	業務を行ううえで必要な ICT の知識の習得を組織全体として計画的に進めます。
目的	職員の情報処理技術・ICT 知識が向上することで横浜市全体のスキルアップにつながり、効率的な業務・情報化の推進が行われるようになります。

### 【29 年度目標の達成率評価・29 年度の実績】

指標	指標の目標値	目標値に対する結果	達成状況
① Office 研修受講後のスキルチェックでのスキル向上割合	① 8 割以上	① 85%	99%
② Office 研修の[参加者 / 募集人数]	② 0.9 以上	② 0.99	
③ 資格取得支援での資格取得者数	③ 10 人	③ 13 人	
④ 情報セキュリティ大学院大学科目聴講人数	④ 4 人	④ 1 人	
⑤ プロジェクトマネジメント研修受講者人数	⑤ 30 人	⑤ 29 人	
⑥ システムデザイン研修受講者人数	⑥ 5 人	⑥ 5 人	
<b>29 年度の実績</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Office 研修を 12 回開催し、全 358 人が受講し、受講者を Office アドバイザーとして認定しました。</li> <li>・ プロジェクトマネジメント研修など、計画通り人材育成を進めました。</li> <li>・ 情報システム調達の上流工程の改善を目的としてシステムデザイン研修を実施しました。</li> </ul>			

### 【4 か年の最終評価】

29 年度の事業の状態 (計画策定時予定)	29 年度の事業の状態 (実績)	進捗評価
推進	推進	<b>A</b> (計画以上に進んでいる)

### 【4 か年の成果について】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種 ICT 人材育成策を実施、拡充し、人材育成を進めました。</li> <li>① ICT 関連取得支援 累計 54 名 ② 情報セキュリティ大学院大学の科目聴講 10 名 10 科目</li> <li>③ Office 研修 12 回開催 累計 1087 人 ④ プロジェクトマネジメント研修 3 回 累計 73 人</li> <li>⑤ システムデザイン研修を 28 年度から新たに開始しました。</li> </ul>
---

施策 26	ICT 推進体制の強化	所管局	新市庁舎 整備
		総務局	
取組内容	最高情報統括責任者である CIO と、CIO を補佐する CIO 補佐監のもと、ICT 支援体制の強化やセキュリティ体制の強化を含め、ICT 推進体制を整備します。		
目的	市全体として必要な ICT 施策が、より効果的に推進できます。		

#### 【29 年度目標の達成率評価・29 年度の実績】

指標	指標の目標値	目標値に対する結果	達成状況
—	—	—	—
<b>29 年度の実績</b>			
本施策は 27 年度に終了しました。			

#### 【終了年度評価】

27 年度の事業の状態 (計画策定時予定)	27 年度の事業の状態 (実績)	進捗評価
推進	推進	<b>B</b> (計画どおり進んでいる)

#### 【成果】

ICT 推進体制の強化が完了し、ICT と業務改善を一体的に推進する全庁的な体制が構築しました。
--

施策 27	IT 予算の総合調整、情報システム調達適正化の継続	所管局	新市庁舎整備
		総務局	

取組内容	横浜市情報システム最適化指針に基づき、予算編成時に IT 関連事業の全庁的な優先度を評価し、その結果を財源配分に反映する「総合調整」を実施します。また、情報システム調達の際には、規模に関わらずシステム構築や機器更新、改修や保守運用について、適正な内容、費用となるよう、技術的な支援や相談対応を行います。
目的	限られた財源の中で、全庁的な視点から重点的に推進する IT 施策を選択し、計画的な投資をするため調達費用を適正化し、安定したシステムを構築・運用します。

### 【29 年度目標の達成率評価・29 年度の実績】

指標	指標の目標値	目標値に対する結果	達成状況
① 予算編成時における協議案件	① 全件	① 全件	100%
② 総合調整	② 実施	② 実施	
③ 予算執行時における協議案件	③ 実施	③ 実施	
④ システム管理システムでの庁内システム全件把握	④ 実施	④ 実施	

#### 29 年度の実績

- ・平成 29 年 6 月から情報システムの調達において事前協議を必須としたことから、協議件数が大幅に増加し、362 件の協議を行いました。(27 年度 66 件、28 年度 125 件)
- ・ICT 予算の総合調整は、しごと改革推進本部会議にて 4 案件のシステムの審議を行い、うち 3 案件の優先が必要とされ、必要な予算が配分されました。
- ・システム管理システムの運用を開始し、庁内情報システムの全体把握を行うとともに、情報システムの過年度決算額及び次年度予算額の調査を効率的に実施しました。

### 【4 か年の最終評価】

29 年度の事業の状態 (計画策定時予定)	29 年度の事業の状態 (実績)	進捗評価
推進	推進	<b>B</b> (計画どおり進んでいる)

### 【4 か年の成果について】

情報システム調達を適正化するため、調達支援の体制を作り、4 年間で 632 件の協議を行いました。また、庁内の情報システムを管理する「システム管理システム」を構築し、予算等調査を効率化するとともに、庁内の情報システム全体を俯瞰し、全体最適及び個別最適に活用しています。総合調整においては、全体最適の観点から IT 施策を審議し、4 年間で 12 件の IT 施策に対して予算を優先的に配分しました。

施策 28	ソフトウェア及びハードウェア資産の管理	所管局	新市庁舎 整備
		総務局	

取組内容	パソコンやソフトウェアライセンス等の資産を台帳として管理するソフトウェア資産管理システムを運用し、ソフトウェア資産の適切な管理を行います。台帳上のソフトウェア及びハードウェア情報と実際の利用場所でのソフトウェア利用状況及びハードウェア設置状況を照合する棚卸を定期的に行い、適切に管理していることを確認します。
目的	ソフトウェアやハードウェア資産を管理し、有用かつ有効なものを適切に利用します。

### 【29 年度目標の達成率評価・29 年度の実績】

指標	指標の目標値	目標値に対する結果	達成状況
① 研修の分かりやすさ	① 80%以上	① 95%	108%
② 棚卸後の是正率	② 80%以上	② 90%	
③ システム研修及びアンケート	③ 実施	③ 実施	
④ 資産の棚卸	④ 実施	④ 実施	
<b>29 年度の実績</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規端末のADサーバーへのアカウント登録を行うため、必要な機能改修を行いました。</li> <li>・ソフトウェアメーカーからの外部監査要求に対し、棚卸時期に合わせ全庁調査を行い対応しました。</li> <li>・ソフトウェアの効率的かつ安全な導入のため、システム改修を行い、導入フローを見直しました。</li> <li>・Office2007、Acrobat XI(11)のサポート切れに伴い、全庁的に禁止ソフトとする対応を行いました。</li> </ul>			

### 【4 か年の最終評価】

29 年度の事業の状態 (計画策定時予定)	29 年度の事業の状態 (実績)	進捗評価
推進	推進	<b>B</b> (計画どおり進んでいる)

### 【4 か年の成果について】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・YCAN 接続端末統制基盤の運用開始に伴い、端末及びソフトウェアの導入の手順を変更し、システムの改修等、適宜対応を行いました。</li> <li>・新たに USB メモリや外付け HDD の管理を開始したことに伴い、それらの申請・承認のフローをソフトウェア資産管理システムの機能として実装しました。</li> <li>・市立学校の教職員の市費移管に伴い、19,000 台の端末を YCAN に移管し、ソフトウェア資産管理システムにて、資産管理番号の発番、YCAN セグメントへの移行等、適宜対応を行いました。</li> </ul>
---

施策 29	情報セキュリティの強化・充実	所管局	新市庁舎 整備
		総務局	●

取組内容	セキュリティ確保のため、各種施策・教育(研修)を引き続き実施し、さらに充実させます。新規にシステム管理者向け研修を開催し、かつ、システム管理者、ネットワーク管理者間の連携を強化します。各区局が進める情報システム等の構築に積極的な関与を進め、セキュリティの確保を図ります。
目的	本市全体のセキュリティ意識を向上させ、インシデント発生時の対応を円滑にします。

### 【29 年度目標の達成率評価・29 年度の実績】

指標	指標の目標値	目標値に対する結果	達成状況
① 研修後のアンケート ② 受講者人数 ③ CSIRT の運用体制について、机上演習により継続的に有効性が確認できている	① 8割以上が「役に立った」と回答 ② 6,000 人 ③ 有効性の確認	① 74.8%が「大いに役に立つ」「まあ役に立つ」と回答 ② 9,691 人 ③ 有効性の確認	118%

#### 29 年度の実績

情報セキュリティ研修について、新採用職員研修、YCAN 管理者研修等の集合研修及び特定個人情報を取り扱う職員等を対象としたサイバーセキュリティ研修等の e ラーニングを実施し、職員の情報セキュリティに関する意識の向上に寄与しました。また、情報システム所管課を対象とした「情報システム庁内連絡会議」を開催し、235 名が出席しました。

### 【4 か年の最終評価】

29 年度の事業の状態 (計画策定時予定)	29 年度の事業の状態 (実績)	進捗評価
推進	推進	<b>B</b> (計画どおり進んでいる)

### 【4 か年の成果について】

情報セキュリティに関する研修について、本市を取り巻く状況等を踏まえて内容を更新し定期的に実施することで、情報セキュリティに関する意識が向上し、インシデント発生時に組織的に対応できるようになりました。



施策 30	情報セキュリティ監査の実施	所管局	新市庁舎 整備
		総務局	

取組内容	セキュリティ確保のため、情報セキュリティ監査を引き続き実施し、さらに充実させます。
目的	情報セキュリティ監査を通じて、職員が職場におけるセキュリティの問題点を把握し、改善する仕組みを構築します。

### 【29年度目標の達成率評価・29年度の取組実績】

指標	指標の目標値	目標値に対する結果	達成状況
① セキュリティ相互監査	① 実施	① 実施	100%
② セキュリティ内部監査	② 実施	② 実施	
③ 個人番号利用事務の実施部署を対象とした内部監査	③ 実施	③ 実施	

#### 29年度の取組実績

①情報システムにおけるセキュリティ相互監査について、手順等を検討し、「システムセキュリティ監査」として332システムを対象に実施しました。
②YCANセキュリティ内部監査について、端末統制基盤の導入に対応した監査手順に見直し、本年度分を実施しました。
③「特定個人情報の取扱いに関する監査」として18区を対象に相互監査を実施しました。

### 【4か年の最終評価】

29年度の事業の状態 (計画策定時予定)	29年度の事業の状態 (実績)	進捗評価
推進	推進	<b>B</b> (計画どおり進んでいる)

### 【4か年の成果について】

<ul style="list-style-type: none"> <li>各職場においてセキュリティの問題点を把握し、監査結果に基づく改善を実施する、情報セキュリティ内部監査を定期的実施し、情報セキュリティ対策を改善するサイクルを確立しました。</li> <li>新たに、情報システムを対象とした「システムセキュリティ監査」及び特定個人情報取扱事務所管課を対象とした「特定個人情報の取扱いに関する監査」を加え、職員が職場におけるセキュリティの問題点を多角的に把握し、改善するサイクルを確立しました。</li> </ul>
--

施策 31	新市庁舎整備における ICT の活用検討	所管局	新市庁舎整備
		総務局	●
取組内容	31 年度しゅん工予定の新市庁舎に関し、ICT 設備を備えた構造の市庁舎となるよう検討を進めます。		
目的	全庁的な ICT 設備の導入によって、より一層効率的に業務が進められるような市庁舎を目指します。		

#### 【29 年度目標の達成率評価・29 年度の実績】

指標	指標の目標値	目標値に対する結果	達成状況
① 新市庁舎の電話についての方針	① 方針決定	① 方針決定	100%
② 新市庁舎の FAX についての方針	② 方針決定	② 方針決定	
③ 新市庁舎のネットワーク整備についての方針	③ 方針決定	③ 方針決定	
<b>29 年度の実績</b>			
しごと改革推進本部会議で次の方針を決定しました。			
① 新市庁舎の電話に IP 電話・個人用 PHS を導入します。			
② 新市庁舎の FAX は原則インターネット FAX とします。			
③ 新市庁舎のネットワーク整備は、新市庁舎整備担当にて幹線を整備します。			

#### 【4 か年の最終評価】

29 年度の事業の状態 (計画策定時予定)	29 年度の事業の状態 (実績)	進捗評価
企画・検討	企画・検討	<b>B</b> (計画どおり進んでいる)

#### 【4 か年の成果について】

新市庁舎のネットワークやサーバー室の設計、電話、FAX に関する方向性を決定しました。
---

施策 32	公共事業の IT 化推進	所管局	新市庁舎 整備
		財政局	

取組内容	公共事業の IT 化に伴い、工事図面に使用されている CAD 図面について、作成や修正、閲覧などの操作研修を職員に対して実施します。
目的	設計業務や工事監督業務、管理業務に携わる職員に、業務上必要となる CAD ソフトの基礎的な操作方法の習得を目的とします。

#### 【29 年度目標の達成率評価・29 年度の実績】

指標	指標の目標値	目標値に対する結果	達成状況
① 研修後のアンケート ② 受講者数	① 8 割以上の方が基本操作について概ね理解し、CAD 図面の編集作業等に利用が可能と回答 ② 100 名程度	① 目標変更 ② 70 名	70%
29 年度の実績			
CAD 操作研修を当初計画の座学集合研修から動画を利用した e ラーニング研修に移行しました。YCAN（庁内イントラネット）に掲載することにより、時間や場所を選ばず職員が自席にて継続的な学習が可能となり、受講機会を増やすことができました。			

#### 【4 か年の最終評価】

29 年度の事業の状態 （計画策定時予定）	29 年度の事業の状態 （実績）	進捗評価
推進	推進	<b>B</b> (計画どおり進んでいる)

#### 【4 か年の成果について】

継続的な研修が実施されており、さらに e ラーニング研修の導入により今後も安定した研修が実施可能となりました。
---

施策 33	土木工事積算システムの再構築	所管局	新市庁舎 整備
		財政局	

取組内容	積算の正確性確保、秘密性の保持、積算に掛かる労力の軽減、設計データの保管・利活用等を目的とした土木工事積算システムの再構築を行います。
目的	積算ミス防止機能の充実や、総価契約単価合意方式、インフレスライドなど今後必要となる新規機能を効率的に導入します。

#### 【29 年度目標の達成率評価・29 年度の実績】

指標	指標の目標値	目標値に対する結果	達成状況
新システムでの新規設計書作成比率	95%	99%	104%
<b>29 年度の実績</b>			
旧システムを段階的に縮小し、新システムと旧システムの新規設計書作成比率は新システムが 99%となりました。			

#### 【4 か年の最終評価】

29 年度の事業の状態 (計画策定時予定)	29 年度の事業の状態 (実績)	進捗評価
運用	運用	<b>B</b> (計画どおり進んでいる)

#### 【4 か年の成果について】

<p>新積算システムが安定的に稼働しました。</p> <p>旧積算システムの縮小を行い、旧システムのシステム改善費を縮小しました。</p> <p>新積算システムによる新規設計書作成の比率を 99%となりました。</p>
---

施策 34	電子入札システム	所管局	新市庁舎 整備
		財政局	

取組内容	電子入札システムは、事業者、発注者双方の事務の効率化を図るとともに、入札の透明性や競争性を高めるために、財政局、水道局及び交通局の3局において導入しています。工事においてはすべての入札で、物品・委託等においてはすべての条件付き一般競争入札及び原則すべての公募型見積合せで電子入札を実施しています。また、水道局、交通局においては一部の案件について実施しています。今後、現在システムを利用していない区局における契約案件のシステム導入に向け、システム改修を行い、システム利用に適する案件から順次導入することを予定しています。
目的	これまで紙で行われていた入札が電子媒体を通じて行われるようになり、入札業務の効率が向上します。

#### 【29年度目標の達成率評価・29年度の実績】

指標	指標の目標値	目標値に対する結果	達成状況
① 工事件数	① 2,500 件	① 2,544 件	100%
② 物役件数	② 5,000 件	② 5,403 件	

#### 29年度の実績

引き続き、電子入札システムを安定稼働させるとともに、総務省のインターネット分離に関するガイドラインに基づき、平成29年7月より「LGWAN接続系」と「インターネット接続系」に物理的にネットワークを分離することにより、システムのセキュリティを十分に確保することができました。

#### 【4か年の最終評価】

29年度の事業の状態 (計画策定時予定)	29年度の事業の状態 (実績)	進捗評価
運用・拡大	運用・拡大	<b>B</b> (計画どおり進んでいる)

#### 【4か年の成果について】

電子入札の利用については計画どおり実施件数が推移していますが、より一層の電子入札システムの安定稼働に努めるとともに、ユーザー（事業者及び職員）にとってわかりやすく、かつ契約事務が正確に効率よく運用できるかを検証しながらシステム運用を図っていきます。

施策 35	土地・建物管理システム（新規）構築	所管局	新市庁舎 整備
		財政局	

取組内容	旧システムのサーバー更新に合わせて、本市が所有する土地・建物のデータ管理を目的としたシステムの新規開発を行います。
目的	本市の管財担当職員によるデータ作成・編集・資料作成、各事業候補地の検索、各区局で公有財産についての問い合わせ等に利用します。システム更新により、操作性の向上、各種処理の時間短縮、二重チェック機能が追加され、業務の効率化を図ります。

### 【29年度目標の達成率評価・29年度の取組実績】

指標	指標の目標値	目標値に対する結果	達成状況
① 区局担当者に対する研修の提供	① 実施	① 実施	90%
② BCP（業務継続計画）の作成	② 作成	② 作成	
29年度の取組実績			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・eラーニングによる担当職員向けの研修を実施しただけでなく、システム操作マニュアルも刷新し、両台帳事務の理解向上のための取り組みを実践しました。</li> <li>・29年度はBCPの案を作成した段階。30年度中に策定予定。</li> <li>・土地・建物管理システムと密接に関係する、地方公会計システム（国の標準ソフトウェア）の運用に伴い発見された不具合・課題等について、J-LIS（地方公共団体情報システム機構）に対し随時報告・要望を行いました。</li> </ul>			

### 【4か年の最終評価】

29年度の事業の状態 （計画策定時予定）	29年度の事業の状態 （実績）	進捗評価
開発・構築	開発・構築	<b>B</b> (計画どおり進んでいる)

### 【4か年の成果について】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・財産の登録、現在高の集計等システム上で作業を行える状態で安定してシステム運用ができています。</li> <li>・地方公会計システム（国の標準ソフトウェア）にはデータの自動連携機能がないため、代替ツールを用いてデータの連携を行いました。代替ツールは地方公会計システムの入力補助ツールという位置づけであるため、引き続き二重入力の手間が課題となっています。</li> </ul>
---

施策 36	粗大ごみ受付業務の推進	所管局	新市庁舎 整備
		資源循環局	

取組内容	粗大ごみインターネット受付の拡充と機器更新及び再構築を検討します。
目的	インターネット受付割合を増加させることで、電話受付割合が減少し受付センターの電話が繋がりがやすくなるため、粗大ごみ受付業務における市民の利便性が向上します。

#### 【29 年度目標の達成率評価・29 年度の実績】

指標	指標の目標値	目標値に対する結果	達成状況
他システムの比較検討	実施	実施	100%

#### 29 年度の実績

- ・粗大ごみ自己搬入のインターネット受付を8月に開始したことで、インターネットでの申し込み割合が増加しました。
- ・インターネット受付を一部自動化しが減少したことで電話受付に従事する人員が増加しました。
- ・機器更新を行い、システムの再構築を行いました。
- ・現委託業者以外の業者2社から参考見積をとり、受付システムの検討を行うとともに、次年度以降の予算や契約の参考にしました。

#### 【4 か年の最終評価】

29 年度の事業の状態 (計画策定時予定)	29 年度の事業の状態 (実績)	進捗評価
運用・拡大	運用・拡大	<b>B</b> (計画どおり進んでいる)

#### 【4 か年の成果について】

目標が達成できない年度もあったが、現在は受付センターの電話応答率をおおむね 80%に維持できています。

施策 37	横浜市営住宅管理関連システムの構築・運用	所管局	新市庁舎整備
		建築局	
取組内容	現行の市営住宅管理関連システムの業務分析及び業務改善を実施し、システムの利便性向上による、業務の効率化を実現する次期住宅管理関連システムを開発・運用します。		
目的	横浜市の市営住宅管理に即したシステム規模とシステムのライフサイクルコストを第一義的に見定め、効率的、かつ適切な市営住宅管理による財源確保を目的とします。		

#### 【29 年度目標の達成率評価・29 年度の実績】

指標	指標の目標値	目標値に対する結果	達成状況
① 収納率 ② 本格運用	① 99.7%以上（政令市中全国一） ② 実施	① 99.71%（政令市中全国一） ② 実施	100%
<b>29 年度の実績</b>			
予定どおり 29 年 8 月から新システムの運用を開始しました。運用開始後に、発覚した課題や改善要望のうち喫緊のものについては、29 年度中に改修しました。			

#### 【4 か年の最終評価】

29 年度の事業の状態 （計画策定時予定）	29 年度の事業の状態 （実績）	進捗評価
開発・構築 運用	開発・構築 運用	<b>B</b> (計画どおり進んでいる)

#### 【4 か年の成果について】

旧システムから新システムへ完全移行され、一定程度の業務効率化が達成されました。
---



施策 38	建築行政の総合的なデータベースシステムの構築・運用	所管局	新市庁舎整備
		建築局	

取組内容	本市において稼働中の「建築基礎情報提供システム」、「がけ地情報管理システム」、「違反建築物等情報管理システム」の3システムについて統合を行い、新しい情報システムとして「総合的なデータベースシステム」の構築を行います。
目的	他課からの参照ニーズが高い情報について一元化したデータベースシステムを構築することで、より効率的・効果的な建築行政の実現につなげます。

#### 【29年度目標の達成率評価・29年度の実績】

指標	指標の目標値	目標値に対する結果	達成状況
操作講習会（管理者ユーザ向け・一般ユーザ向け）の開催	実施	実施	100%
<b>29年度の実績</b>			
操作講習会（管理者ユーザ向け・一般ユーザ向け）の開催ができ、運用においても特に問題なく維持管理できました。			

#### 【4か年の最終評価】

29年度の事業の状態 （計画策定時予定）	29年度の事業の状態 （実績）	進捗評価
運用	運用	<b>B</b> (計画どおり進んでいる)

#### 【4か年の成果について】

ソフト、ハード面ともに安定的に稼働し、不具合なく運用できました。
----------------------------------

施策 39	救急活動の ICT 化	所管局	新市庁舎 整備
		消防局	

取組内容	タブレット型 PC を導入し、救急車内で活動報告の作成などを行うとともに、心電計などの医療機器やプリンターと接続して、搬送先に心電図など医療データを伝達します。また、スマートフォンを活用し、緊急度・重症度判断と医療機関選定機能を連携させるためのアプリケーションの開発を行います。
目的	事務の効率化及び省力化を図り、迅速な出場体制を確保すると共に、これまで事務処理にあてていた時間で訓練・教育を実施することにより救急隊員の質の向上を図ります。また、心電計やプリンター等の外部機器と接続することで、医師への的確な傷病者情報の伝達を行います。迅速な医療機関の選定、現場活動時間の短縮を目指します。

#### 【29 年度目標の達成率評価・29 年度の実績】

指標	指標の目標値	目標値に対する結果	達成状況
救急隊員へのアンケート	7 割以上がメリットを感じていると回答	未実施	50%
<b>29 年度の実績</b>			
医療局が所管する「横浜市救急医療情報システム (YMIS)」を改修し、多数傷病者に対応するための機能を追加するためのシステム間調整を実施しました。			

#### 【4 か年の最終評価】

29 年度の事業の状態 (計画策定時予定)	29 年度の事業の状態 (実績)	進捗評価
運用	改修完了	C (計画どおり進んでいない)

#### 【4 か年の成果について】

業者や関係部局との調整に時間を要したため、運用開始スケジュールに大幅な遅れが生じました。試行運用における問題点、改善点を、早期に抽出し、必要な改修を実施しました。
---

施策 40	消防業務支援システムの構築	所管局	新市庁舎 整備
		消防局	

取組内容	法令規制対象物、消防団、消防水利、災害統計等の消防業務全般に関わる情報を総合的に管理する総合情報管理システムの後継にあたる、消防業務支援システムを構築します。
目的	現総合情報管理システムは、機構改革や法改正に伴う業務内容の変更や追加がある一方で、システムを構成する技術やプログラムの陳腐化により、業務上多くの課題を抱えています。そのため、システムを抜本的に見直すとともに、情報通信技術を最大限に活用し、効率的な業務の推進と情報（データ）を様々な施策に展開できるシステムに全面更新します。

#### 【29 年度目標の達成率評価・29 年度の実績】

指標	指標の目標値	目標値に対する結果	達成状況
①法改正等に伴う改修 ②保安 2 法システム（高圧ガス保安法部分）構築 ③新しい接続経路に伴うシステム改修	① 実施 ② 完了 ③ 実施	① 法改正に伴う改修箇所はなかったため未実施 ② 完了 ③ 実施	100%
<b>29 年度の実績</b>			
平成 30 年度に県から移譲される高圧ガス保安法に対応するため、消防業務支援システムのサブシステムの構築を行いました。インターネットと接続する必要があるシステムの一部を改修することで、業務を継続するとともにセキュリティを強化しました。			

#### 【4 か年の最終評価】

29 年度の事業の状態 (計画策定時予定)	29 年度の事業の状態 (実績)	進捗評価
運用	運用	<b>B</b> (計画どおり進んでいる)

#### 【4 か年の成果について】

消防業務支援システムの開発が完了し、機構改革や法改正によるシステム改修が容易となりました。また、情報通信技術を最大限に活用することで、効率的な業務の推進やシステムに蓄積された情報を迅速な集計、抽出した情報を様々な施策に展開することなどが可能となりました。
---

施策 41	横浜市学力・学習状況調査の採点結果集計システムの構築・運用	所管局	新市庁舎整備
		教育委員会事務局	

取組内容	横浜市学力・学習状況調査の結果の入力と集計を簡素化できるシステムの設計と構築を行います。
目的	学校現場の教員の採点・結果集計にかかる負担（採点結果の入力、入力結果の合算作業等）が軽減されます。システム運用にかかる指導主事の負担（システムに関する質問対応、誤動作に対するシステムチェック・業者とのやりとり等）が軽減されます。

### 【29 年度目標の達成率評価・29 年度の実績】

指標	指標の目標値	目標値に対する結果	達成状況
① 学校アンケートでの満足割合 ② システム構築・運用・不具合の修正	① 60%以上 ② 実施	① 小学校：30%、中学校：44% ② 実施	81%
<b>29 年度の実績</b>			
アクセスによるシステムを構築・運用し、より操作性を高められるよう、昨年度の反省点をシステムへ反映しつつ運用しました。			

### 【4 か年の最終評価】

29 年度の事業の状態 (計画策定時予定)	29 年度の事業の状態 (実績)	進捗評価
運用	運用	<b>B</b> (計画どおり進んでいる)

### 【4 か年の成果について】

アクセスによるシステムを構築・運用したことにより、学校現場の教員の結果集計にかかる負担が軽減されました。システムは前年度をベースに構築をしつつ改良をしたことでシステム運用にかかる指導主事の負担も軽減されました。
---

施策 42	オープンデータの推進	所管局	新市庁舎 整備
		政策局	
取組内容	本市が保有する情報のうち、Web サイトに掲載されている情報を中心にオープンデータ化を進めます。また、民間におけるオープンデータ活用に関する取組への支援を行うなど、利活用を促進します。		
目的	行政が保有する公的データをだれもが利用しやすい形で共有し、その活用を進めることにより、協働・共創による地域課題・社会的課題の解決や経済の活性化を図ります。		

#### 【29 年度目標の達成率評価・29 年度の実績】

指標	指標の目標値	目標値に対する結果	達成状況
① オープンデータ化への支援 ② 民間の取組への支援 ③ 新規オープンデータ化	① 実施 ② 実施	① 実施 ② 実施 ③ 208 件	100%
<b>29 年度の実績</b>			
オープンデータ化の推進を行いました。			

#### 【4 か年の最終評価】

29 年度の事業の状態 (計画策定時予定)	29 年度の事業の状態 (実績)	進捗評価
推進	推進	<b>B</b> (計画どおり進んでいる)

#### 【4 か年の成果について】

協働・共創による地域課題・社会的課題の解決や経済の活性化につながるよう、オープンデータ化やその活用を推進しました。
---

施策 43	横浜市 Web サイト再構築	所管局	新市庁舎 整備
		市民局 総務局	
取組内容	横浜市 Web サイトを管理するシステムを入れ替えるとともに、横浜市 Web サイトを全面的に再構築し、オープンデータ、Web アクセシビリティ JIS 規格に対応します。		
目的	誰もが情報を得やすい Web サイトにすることで、市民の情報活用環境が向上します。また、Web サイト上の情報を一元的に管理することで、業務効率化を図ります。		

#### 【29 年度目標の達成率評価・29 年度の実績】

指標	指標の目標値	目標値に対する結果	達成状況
システム構築事業者がシステム要件を理解している	理解	理解	100%
<b>29 年度の実績</b>			
システム構築事業者と契約し、新しい横浜市 Web サイトを管理するシステムのシステムに求める要件整理を実施しました。			

#### 【4 か年の最終評価】

29 年度の事業の状態 (計画策定時予定)	29 年度の事業の状態 (実績)	進捗評価
運用・拡大	開発・構築	<b>C</b> (計画どおり進んでいない)

#### 【4 か年の成果について】

計画当初は、28 年度から新しいウェブサイトの運用開始を予定していましたが、31 年 3 月末にリニューアル公開するスケジュールに見直し、予定通りに進捗しています。
--

施策 44	よこはまウォーキングポイント事業	所管局	新市庁舎 整備
		健康福祉局	

取組内容	参加者に指定歩数計を配付し、日常生活の中でウォーキングによる健康づくりに取り組んでいただく事業です。市内店舗等に設置された専用リーダーでポイントをためることができ、ポイントをためると抽選で景品が当たる仕組みや寄付にも活用できるため、楽しみながら健康づくりに取り組むことができます。
目的	高齢化が急速に進む本市において、今後市民の健康に関するニーズはますます高まることが見込まれます。日常生活の中で楽しみながら継続して健康づくりに取り組める仕組みをつくり、特に生活習慣病・ロコモティブシンドローム（運動器症候群）予防が求められる中高年の市民の方々や、とりわけ、健康づくりに関心はあるがなかなか取組めていないの方々への、日々の運動習慣づくりを後押しすることを目的としています。

#### 【29 年度目標の達成率評価・29 年度の実績】

指標	指標の目標値	目標値に対する結果	達成状況
① 参加登録人数 ② 事業の実施および 30 年度以降に向けた準備	① 累計 30 万人、新規参加登録者数 6.7 万人 ② 実施	① 累計 300,306 人、新規参加登録者数 67,714 人 ② 実施	100%

#### 29 年度の実績

申込時に歩数計をお渡しする取組（イベント会場等での即時交付）を進め、目標の参加登録者数累計 30 万人を達成しました。また、スマホアプリ開発事業者を選定し、第 2 期に向け、アプリを開発しました。（30 年 4 月運用開始）

#### 【4 か年の最終評価】

29 年度の事業の状態 （計画策定時予定）	29 年度の事業の状態 （実績）	進捗評価
推進	推進	<b>B</b> （計画どおり進んでいる）

#### 【4 か年の成果について】

日常生活の中で楽しみながら健康づくりに取り組んでいただく本事業は市民の高い関心を集め、「歩くムーブメント」となって中期計画に掲げた参加登録者数 30 万人の目標を達成することができました。また、取組が各方面から評価され、「第 5 回健康寿命をのばそう！アワード」（厚労省）では、自治体部門トップの優秀賞を受賞しました。

施策 45	オープンデータ活用・IT振興事業	所管局	新市庁舎 整備
		経済局	

取組内容	市内 IT 関連企業の販路開拓支援、企業間ネットワークの拡大及び IT 関連企業の技術者一人ひとりの技術レベルの向上に向けた支援を行います。
目的	市内の IT 関連産業を振興し、IT 技術者を支援します。

### 【29 年度目標の達成率評価・29 年度の実績】

指標	指標の目標値	目標値に対する結果	達成状況
-	-	-	-
29 年度の実績			
28 年度で本施策の行動計画は終了しました。			

### 【終了年度評価】

終了年度の事業の状態 (計画策定時予定)	終了年度の事業の状態 (実績)	進捗評価
推進	推進	<b>B</b> (計画どおり進んでいる)

### 【成果】

市内中小 IT 企業に対して、販路開拓支援を実施しました。また、業界団体等と連携してデータサイエンスセミナー等を実施しました。
---



施策 46	次期「横浜港港湾情報システム」の構築	所管局	新市庁舎整備
		港湾局	

取組内容	横浜港に入港する船舶や港湾施設等を総合的に管理・運用する「横浜港港湾情報システム」の次期システムの構築を行います。
目的	今後の港湾管理者業務・港湾施設管理業務等の業務フローに即した基幹システムを構築し、利用者や市民に対し、利便性・信頼性の向上を図るとともに、業務運用の低コスト化・省力化を実現します。

#### 【29年度目標の達成率評価・29年度の実績】

指標	指標の目標値	目標値に対する結果	達成状況
① 基本設計	① 確定	① 確定	100%
② 詳細設計作成	② 着手	② 着手	
<b>29年度の実績</b>			
次期システム開発委託およびプロジェクト管理委託の契約、各種設計書作成、一部機能を製造しました。			

#### 【4か年の最終評価】

29年度の事業の状態 (計画策定時予定)	29年度の事業の状態 (実績)	進捗評価
開発・構築	開発・構築	<b>B</b> (計画どおり進んでいる)

#### 【4か年の成果について】

次期システムの構築に向けて、設計が一部完了しました。
----------------------------

施策 47	横浜スマートシティプロジェクト	所管局	新市庁舎 整備
		温暖化対策 統括本部	●
取組内容	エネルギーマネジメントシステム連携・普及の推進。		
目的	次世代型エネルギーネットワーク、エネルギーマネジメントシステムの設備を導入したビルディング等を普及・展開し、持続可能な低炭素都市の構築をさらに加速化させます。		

#### 【29 年度目標の達成率評価・29 年度の実績】

指標	指標の目標値	目標値に対する結果	達成状況
新たに 2 か所で EMS 連携	実施	実施（南部水再生センターと金沢水再生センター）	100%
<b>29 年度の実績</b>			
新規で公共施設 2 施設において EMS 連携し、デマンドレスポンスを実施しました。			

#### 【4 か年の最終評価】

29 年度の事業の状態 (計画策定時予定)	29 年度の事業の状態 (実績)	進捗評価
推進	推進	<b>B</b> (計画どおり進んでいる)

#### 【4 か年の成果について】

4 か年を通して、公共施設を含む 31 施設において EMS 連携を進め、次世代型エネルギーネットワーク、エネルギーマネジメントシステムの普及・展開に取り組み、持続可能な低炭素都市の構築を推進しました。
---

施策 48	低炭素型次世代交通推進事業	所管局	新市庁舎 整備
		温暖化対策 統括本部	
取組内容	低炭素型次世代交通推進事業は横浜市と民間事業者がリードして進めている取組です。低炭素都市を目指した次世代交通の実現に向けて、電気自動車など環境負荷の少ない乗り物の普及をはじめとした総合的な交通施策に関する取組を推進します。		
目的	温室効果ガス全排出量の約 20%を占める運輸部門について、市民や企業、その他関係する皆様との連携等を含めた、より現実的で効果的な取組を展開することにより持続可能なモビリティ社会を実現します。		

#### 【29 年度目標の達成率評価・29 年度の取組実績】

指標	指標の目標値	目標値に対する結果	達成状況
カーシェアリング事業及びレンタカー事業のビジネス化に向けた検証	実施	実施	100%
<b>29 年度の取組実績</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・超小型モビリティを活用した実証実験「チョイモビ ヨコハマ」を実施しました。 ラウンドトリップ型カーシェアリング（H29.3～H31.3（予定）） 長期レンタカー（H29.3～H31.3（予定））</li> <li>・「COOL CHOICE」を活用したラッピング公用車の利活用実験による低炭素交通の普及啓発を行いました。</li> </ul>			

#### 【4 か年の最終評価】

29 年度の事業の状態 （計画策定時予定）	29 年度の事業の状態 （実績）	進捗評価
推進	推進	<b>B</b> (計画どおり進んでいる)

#### 【4 か年の成果について】

低炭素都市を目指した次世代交通の実現に向けて、超小型モビリティや電気自動車など環境負荷の少ない乗り物の普及啓発を実施し、持続可能なモビリティの検証を進めました。
--

施策 49	ICT の活用による環境負荷の低減	所管局	新市庁舎 整備
		総務局	●

取組内容	電子会議を導入し、ICT を活用することによって環境負荷を低減します。
目的	紙の使用量を削減するとともに会議にかかる「人の移動」を削減し、環境負荷の低減と、会議の効率化を図ります。

#### 【29 年度目標の達成率評価・29 年度の実績】

指標	指標の目標値	目標値に対する結果	達成状況
① 電子会議試行の年間 利用回数	① 200 回	① 144 回	101%
② 電子会議試行による 紙削減の総ページ数	② 200,000 ページ	② 260,000 ページ	
<b>29 年度の実績</b>			
タブレット端末の試行終了後の対応方針を定めました。引き続き、ICT を活用したペーパーレスの取組を推進するため、暫定的に平成 30 年 4 月 1 日以降も継続して運用します。			

#### 【4 か年の最終評価】

29 年度の事業の状態 (計画策定時予定)	29 年度の事業の状態 (実績)	進捗評価
※	運用	A (計画以上に進んでいる)

#### 【4 か年の成果について】

<ul style="list-style-type: none"> <li>①電子会議試行の総利用回数が 567 回</li> <li>②電子会議試行による紙削減の総ページ数が 755,000 ページ</li> <li>③電子会議システム導入完了</li> </ul>
---

### 3 必要施策に関連する個別取組成果

計画期間中に行われた取組は次のとおりです。

#### (1) 安全で安心できる豊かな市民生活

項番	必要 施策名	関連 取組名	新市庁 舎整備	計画期間中の取組成果	取組 所管 区局
1	ICT 活用時の安全安心を守る仕組みの充実	自治体情報システム強化対応	●	総務省から示された「自治体情報システム強靱性向上モデル」に基づく情報セキュリティ対策を完了しました。これにより、標的型攻撃メールによる個人情報の漏えい等、インターネットからのサイバー攻撃に伴う情報セキュリティのリスクを軽減し、より安全に ICT を活用できる環境を実現しました。	総務局
2	ワンストップサービス等の検討	社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）の導入を契機とした市民サービスの向上と業務効率化		他都市等との情報連携による添付書類の省略や、マイナポータルを利用した行政サービスの横断検索などにより、市民サービスの向上と行政事務の簡素化を実現しました。平成 30 年度からは、子育て分野の一部の手続で、電子申請の導入を決定しました。	総務局
3	横浜市 Web アクセシビリティ方針の改定 横浜市 Web ページのアクセシビリティの対応の促進	情報バリアフリーへの対応		横浜市の公式ウェブサイトについては、総務省が示す「地方公共団体のウェブアクセシビリティの確保・維持・向上に取り組む際の手順書（みんなの公共サイト運用ガイドライン）」が改定された事に伴い、ウェブアクセシビリティ方針等を改定しました。「その他の横浜市が運営するウェブサイト」及び「指定管理者が運営している横浜市施設のウェブサイト」については、当該ガイドラインに基づき、ウェブアクセシビリティ対応を行うように、説明会を開催するなどして、ウェブアクセシビリティ対応の促進をしました。また、「その他の横浜市が運営するウェブサイト」については、ウェブアクセシビリティ対応状況が分かるように一覧化し、公表しました。	総務局
4	電子書籍等への対応	電子書籍等への対応		公共図書館向け電子書籍サービスの内容や出版点数、価格等の動向及び他都市の公共図書館の導入状況を調査し、導入にあたってのメリット・デメリットを整理しました。	教育委員会事務局

(2) コスト縮減と信頼され効率的な行政運営

項番	必要 施策名	関連 取組名	新市 庁舎 整備	計画期間中の取組成果	取組 所管 区局
1	システム 監査の充 実	情報システ ムを対象と した情報セ キュリティ 内部監査の 検討		情報システムを対象とした情報セキュリティ内部監査の実施により、情報セキュリティ上の問題を改善するサイクルを確立するとともに情報セキュリティに対する職員の意識が向上し、情報システムの信頼性、安全性が向上しました。	総務局
2	基幹情報 システムの 移行	基幹情報シ ステムの更 新		次期機器更新に向けた検討を行い、方針を決定しました。	総務局
3	情報シス テムの構 築におけ る効果指 標の設定 と効果測 定による 検証の勧 奨	システムア セスメント の確立		平成 30 年度に予算要求する情報システムについて予算編成前に協議を行い、情報システムの構築等の目的を確認するとともに、効果指標と定量的な対応効果を設定するよう指導しました。また、調達が適正に行われるように、構成等について指導を行いました。	

(3) 活力ある都市横浜

項番	必要 施策名	関連 取組名	新市 庁舎 整備	計画期間中の取組成果	取組 所管 区局
1	ICT 協働 の仕組み づくり	ICT を活用 した協働の 仕組みづく り		協働・共創による地域課題・社会的課題の解決や経済の活性化につながるよう、オープンデータ化やその活用を推進しました。	政策局
2	テレワー クなどへ の対応	多様で柔軟 な勤務形態 の検討	●	28 年度から一部局においてテレワーク（在宅勤務）の試行を開始しました。29 年度には、対象を全局統括本部に広げ、実施要件やテレワークで実施できる業務等の見直しを実施しました。2 か年にわたる試行において、整理すべき課題はあるものの、実施者等へのアンケート調査から、テレワークが多様で柔軟な勤務形態の一つとして、ワークライフバランスの推進に有効であることが確認できました。	総務局

3	ビッグデータの活用	データを活用した政策立案への支援		各区局において政策立案にデータを活用していくことの必要性や、その考え方を、研修を通して伝えることができました。	政策局
4	都市プロモーションへのICT活用の充実	都市プロモーション		<p>文化観光局公式 Facebook「Find Your Yokohama」では、横浜のブランドスローガンとして掲げている「あうたびに、あたらしい Find Your YOKOHAMA」の世界観やブランド価値を、横浜の様々な魅力的な資源を通じてオリジナル記事で配信しています。さらに Facebook 上でのファンとのコメントのやりとりなどを通じて横浜ファンを増やし、好意を醸成した結果、フォロワー数は、29 年度末に 9,202 人（28 年度 6,078 人）となりました。</p> <p>横浜市公式 Instagram「@findyouryokohama」では、横浜の魅力を訴求する画像・動画を毎日投稿しています。横浜にゆかりがあり、影響力のあるインスタグラマーの活用や、毎月テーマを設定し、公式ハッシュタグ「#myyokohama」を付けた投稿を促すことで、多くの魅力溢れる写真が投稿され、横浜の魅力の認知度向上を実現しました。</p> <p>また、ストーリー機能を活用するなど、投稿のバリエーションを強化し、日々のコミュニケーションを深めた結果、自治体アカウントとしては国内最大の 3 万を超えるフォロワー数を獲得しました。</p> <p>東京 2020 オリンピック・パラリンピック及びラグビーワールドカップ 2019™を見据え、ラグビーへの関心が高い英国及びオーストラリアにおける本市がターゲットとする層に対して、ニュース番組「CNN」内での TVCM の放映や Web 広告サイトへ 15 秒の横浜 PR 動画の配信を実施し、本市の認知度向上を図りました。</p>	文化観光局

(4) 地球にやさしい環境

項番	必要施策名	関連取組名	新市庁舎整備	4 か年（26～29 年度）の成果	取組所管区局
1	ICT を活用した環境行動の普及啓発	おうち de 省エネ	●	制作した動画の YouTube 配信においては、関連動画の再生回数合計が 19 万回を超え、区役所ロビーや日産スタジアム（J リーグ試合時）の電光掲示板での広告など幅広く活用され、市民に身近な住まいの省エネ化や、環境を意識したライフスタイルの普及に貢献しています。	温暖化対策統括本部

(参考) 必要施策一覧

<b>1 安全で安心できる豊かな市民生活</b>
ICT活用時の安全安心を守る仕組みの充実
こどもや高齢者の見守りへのICT活用
ワンストップサービス等の検討
効果的な地域ニーズ・市民ニーズのICT施策反映方法の検討
高齢者へのICT講習
市民のICT活用支援
情報バリアフリーへの対応
生涯学習へのICTの活用
電子書籍等への対応
電子投票への対応
電磁的記録全般に関する取り扱いに関する検討と対応
<b>2 コスト縮減と信頼され効率的な行政運営</b>
システムアセスメントの確立
システム監査の充実
基幹情報システムの移行
共同開発、共同利用の推進
新技術の活用による全体最適化の推進
庁内で作成した資産の共有
<b>3 活力ある都市横浜</b>
ICT協働の仕組みづくり
テレワークなどへの対応
ビッグデータの活用
知的財産保護、活用の支援
地域へのICT利活用の促進
都市プロモーションへのICT活用の充実
<b>4 地球にやさしい環境</b>
ICTを活用した環境行動の普及啓発
ICT関連施設のグリーン化の促進